

平成30年度 呉羽高等学校アクションプラン - 1 -

重点項目	学習活動（学習指導の充実）					
重点課題	家庭学習の充実と教科指導の向上					
現 状	<p>①本校生徒の進学志望達成のためには、日々の授業を大切に、生徒が計画性をもって自発的に学習に取り組むことが必要である。昨年実施した学習についてのアンケート調査によると、復習など生徒にとって必要な家庭学習ができていないという結果が得られた。実態に応じた適切な課題を与え、学力の向上を図る必要がある。</p> <p>②教える側の教員自身も生徒にとって分かりやすい魅力的な授業を行うため、授業方法の改善と充実を図る必要がある。新学習指導要領に向けた主体的な深い学びを実現するために、従来の指導に加え、新しい視点を導入した指導が求められていることは教員間に浸透しているが、限られた実践にとどまっている。</p>					
達 成 目 標	<p>①生徒の平日学習時間（授業を除く）</p> <table border="0"> <tr> <td>1年生 2.0時間以上</td> <td rowspan="3">} の生徒の割合</td> </tr> <tr> <td>2年生 2.5時間以上</td> </tr> <tr> <td>3年生 3.0時間以上</td> </tr> </table> <p>※学習実態調査より</p> <p>②生徒の学習状況の実態を把握・分析するためにアンケート調査を実施し「主体的に家庭学習に取り組むことができた」と答えた生徒の割合</p>	1年生 2.0時間以上	} の生徒の割合	2年生 2.5時間以上	3年生 3.0時間以上	<p>③今年度の授業(実技・実習以外)において、新学習指導要領に向けた新しい視点(アクティブラーニング等)を導入した授業を実践したことがある教員の割合</p>
	1年生 2.0時間以上	} の生徒の割合				
2年生 2.5時間以上						
3年生 3.0時間以上						
	<p>① 70%以上</p> <p>② 70%以上</p>	<p>③ 80%以上</p>				
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習実態調査、日々の授業や面接を通して生徒の学習状況を把握すると共に、生徒に自発的に学習する習慣を身につけさせ、学習内容の充実を図り、最低限の学習時間を確保させる。 ・各教科からの週末（週間）課題について、生徒が自発的に取り組むことが出来るように、その内容や分量の充実を図る。 ・「生徒学習記録表」を活用して、進路指導部や学年と連携しながら、生徒一人一人に合った学習内容の充実と学習時間増加推進に取り組ませる。個人面接等では、「生徒学習記録表」を見ながら指導を継続していくことにより目標達成を図る。 ・生徒の学習状況についてアンケート調査を実施し、家庭学習の内容や取り組みの実態を把握・分析し、家庭学習の充実につなげる。 					

評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった